

2012.03.28

2014.04.28 一部改訂

2015.02.05 一部改訂

## 室内機の記録会について(運用ルール)

2010年6月より「A級・アパッチ号」による記録会を行ってきました。

徐々にではありますが参加者のレベルもアップして、当初の目標だった7分の記録も達成できた状況です。次の課題機を選定してはとの声も出てきました。

次の課題機として「所沢規格のHK-28」を採用させていただきます。

2012年4月の記録会よりスタートできるように準備したいと思います。

下記のようなルールを決めますが状況に応じた運用をしていけばと考えます。

記録会の当日は課題機以外の飛行も歓迎です。お気遣いなくご参加下さい。

### 1. 課題機(1)

- 1) A級・アパッチ号 (子供の科学別冊「30分に挑戦・室内競技用機集」、著者:野中繁吉氏  
発行:誠文堂新光社)の10~15ページの機体に準ずること  
ただしプロペラブレードは紙以外の材質でも可とする。

#### 2) A級の規格

- ・主翼のスパンは350mm以下
- ・ライトプレーン型の1本胴体(テール部の接続可)
- ・翼の被覆材としてマイクロフィルムの使用は不可

### 2. 課題機(2)

- 1) 所沢規格・HK-28(規格や特徴等は「所沢フェザープレーンクラブ」のHPを参照)

#### 2) HK-28の規格

- ・主翼コード : 65mm 以下
- ・主翼スパン : 280mm 以下(投影)
- ・モーターステック : 180mm以下(プロペラハンガーから後部フックまで)
- ・機長 : 300mm 以下(ライトプレーン型の1本胴体、テール部の接続可)
- ・尾翼 : 主翼の50%以下
- ・重量 : 2.0g以上(ゴムを除く)
- ・プロペラ : 規定なし
- ・ゴム重量 : 規定なし
- ・翼紙 : マイクロフィルム以外
- ・垂直 : 規定なし

### 3. 競技方法

- 1) 原則として毎月1回の記録会を計画する。  
(複数回ある場合は月末に近い日を記録会とする)
- 2) 「課題機(1)」と「課題機(2)」の2種目を交互に開催する。

- 3) 記録会会場は原則として「神田体育館」とする。
- 4) 持ち点制として年間で種目別に集計する。  
毎月の1位に10点～10位に1点とする。  
年間の出場回数により平均点数を求めて順位付けする。  
(毎回参加できない方への対応として年間の平均点とする)  
ただし年間の順位付けは、種目への参加回数が2回以上の方を対象とする。  
同点の場合は最高タイムにより決定する。
- 5) 複数回の飛行の上位2ラウンドの合計タイムにより順位をつける。  
3時間予約の場合:3ラウンドの飛行  
4時間予約の場合:4ラウンドの飛行
- 6) 飛行の開始は模型が競技者の手から離された時とする。
- 7) 1回目の飛行時間が20秒に満たない場合は2回目の飛行が出来る。
- 8) 飛行の終わりは次の場合とする。
  - ・模型が床または地面に静止したとき
  - ・模型が建物または障害物に衝突して飛行を停止したときただし10秒たたぬうちに飛行を再開した場合は飛行が続いているものとする。
  - ・滞空時間を計測するときの判断は計時員が行う。
- 9) 飛行時間は計時員の計測した時間をそのまま記録し、秒未満の数値を切り捨てる。
- 10) その他の詳細については問題が発生した都度協議する(紳士協定にて運用)